

Unsaturated Chondro-Disaccharide: Δ Di-diS_D(不飽和コンドロ二糖 : Δ Di-diS_D)

製品コード : DDI-SD

製品名 : Unsaturated Chondro-Disaccharide: Δ Di-diS_D別名 : 2-acetamido-2-deoxy-3-O-(2-O-sulfo- β -D-glucopyranosyluronic acid)-6-O-sulfo-D-galactose

含量 : 500nmol/vial (凍結乾燥品)

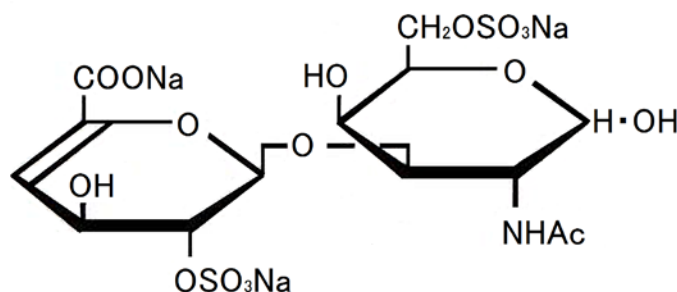
ナトリウム塩の分子式 : C₁₄H₁₈NNa₃O₁₇S₂

ナトリウム塩の式量 : 605.3

製品概要 : 本品は、コンドロイチン硫酸 (CS) をコンドロイチナーゼ ABC (CAS: 9024-13-9) 又はコンドロイチナーゼ AC-II (CAS: 9047-57-8) により消化し、カラムクロマトグラフィーにより精製することにより調製されています。

Δ Di-diS_Dは非還元端のウロン酸の 4 位と 5 位の間に二重結合 (不飽和結合) を有しており、 Δ Di-diS_Dの「 Δ (デルタ)」はこの不飽和結合を意味しています。

Δ Di-diS_Dの構造式を図に示します。本品は細菌由来のコンドロイチナーゼによる消化と HPLC を用いた CS 及びデルマタン硫酸 (DS) の組成解析における標準品として有用で¹⁾、 Δ Di-diS_Dは CS 又は DS の「ガラクトサミンの 6 位とウロン酸の 2 位が硫酸エステル化された二糖単位」から生成されます。実充填量及び純度につきましては同封の CoA をご覧ください。



取扱上の注意 :

- 1) 湿気を避けて、**-20℃以下**で遮光保存して下さい。
- 2) **バイアル開封前**に、フラッシュ遠心等により**凍結乾燥物をバイアルの底に落として下さい**。
- 3) 0.5mL の適切な溶媒を加えて溶解後、適当量を小分けして凍結保存されることをお勧めします。バイアルの容量は **0.5mL 用**です。
- 4) 溶解後の保存安定性は溶液の pH により変動し、アルカリ側 (**pH8 以上**) では低下します。製品を溶解するときは、**溶媒の pH に留意してください**。
- 5) 本品は滅菌しておりません。必要に応じて 0.2 μm のフィルターを用いてろ過滅菌して下さい。
- 6) 本品は研究用試薬であり、医薬品その他の目的にはご使用になれません。

文献

- 1) Yoshida K, et al.: Anal Biochem, **177**, 327 (1989)